

第1章

はじめに

- 1 計画策定の背景・目的
- 2 計画の区域・期間・位置づけ

第1章 はじめに

1 計画策定の背景・目的

人吉球磨地域ではこれまで、平成22年度に地域公共交通総合連携計画を、平成27年度には地域公共交通網形成計画を策定し、持続可能で利便性の高い地域公共交通網の形成に向けた施策に取り組んできました。

現在、令和2年からの新型コロナウイルス感染拡大による影響、また令和2年7月豪雨による鉄道路線の甚大な被害により、地域公共交通を取り巻く環境や地域公共交通網が大きく変化しています。このような状況と令和2年11月の地域公共交通活性化再生法の改正を踏まえ、人吉・球磨地域公共交通計画を策定するものです。

1. 鉄道の施設被害状況

《 主な施設の被害状況 》

■JR九州

◇肥薩線

・球磨川第1橋りょう 橋りょう流失 …①

・第2球磨川橋りょう 橋りょう流失 …②

◇久大線

・第2野上川橋りょう 橋りょう流失 …③

◇鹿児島線

・上伊集院駅～広木駅間 土砂流入 …④

・玉名駅～肥後伊倉駅間 土砂流入 …⑤

◇日南線

・大隅夏井駅～志布志駅間 切取崩壊 …⑥

◎ 被害件数:345件※今後、増加の可能性あり。

■くま川鉄道

◇湯前線

・人吉温泉駅において土砂流入、線路冠水、車両床下浸水(5両) …⑦

・球磨川第4橋りょう 橋りょう流失 …⑧

◎ 被害件数:調査中

■肥薩おれんじ鉄道

◇肥薩おれんじ鉄道線

・佐敷トンネル 土砂流入 …⑨

◎ 被害件数:63件※今後、増加の可能性あり。

■平成筑豊鉄道

◇田川線

・犀川駅～油須原駅間 土砂流入

◎ 被害件数:3件

< 九州各地の路線で400件を超える被害が発生 >



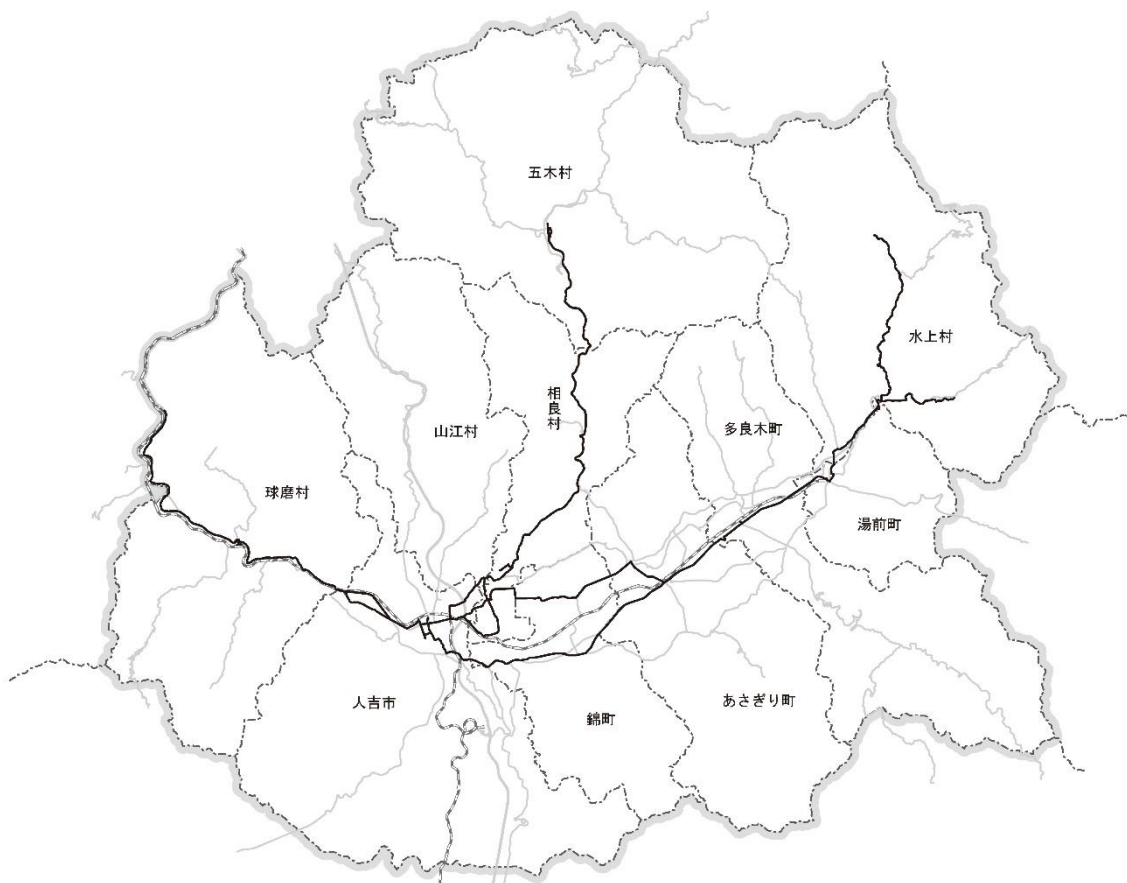
資料:「令和2年7月豪雨による九州の観光・交通分野の被災状況」九州運輸局(令和2年7月17日)

2 計画の区域・期間・位置づけ

(1) 計画の区域

計画の区域は、人吉球磨地域の1市4町5村とします。

※人吉市、錦町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、あさぎり町



(2) 計画の期間

計画の期間は、令和4年4月から令和9年3月までの5年間とします。

なお、今後の社会情勢の変化や地域公共交通を取り巻く環境の変化等を踏まえ、適宜、本計画の検証及び見直しを行います。

(3) 計画の位置づけ

本計画は、第2次人吉球磨定住自立圏共生ビジョン、各市町村の総合計画やまち・ひと・しごと創生総合戦略、さらには令和2年7月からの豪雨災害からの復興計画を上位計画に、各市町村のまちづくりや観光、教育、福祉などの関連計画との整合を図りつつ策定します。

さらには、各市町村で策定されている、もしくは今後改正・策定予定の地域公共交通に関する計画との整合も図ります。

